

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
経営学 I Business Administration I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(上級ビジネス実務士必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ビジネス実務総論 I・II, マーケティング I・II, 経営組織論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ビジネス実務総論 I, マーケティング I, 経営組織論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12:10~13:00		授業中に指示します
授業の概要				
はじめて経営学を学習する人を対象に、大学生として経営学を学ぶ意義を理解した上で、企業の種類や経済社会における企業の役割、さらに、現代社会の代表的企業である株式会社の企業形態的な特徴とその組織管理、コーポレートガバナンスをとりあげる。現代社会における株式会社の役割や特徴に関する知識を習得するのが本講義の中心テーマである。				
授業の目標				
①現代企業を分類してそれぞれの企業形態の特徴を説明できるようにする。 ②株式会社の特徴と組織を説明できるようにする。 ③現代企業におけるコーポレートガバナンスの意義とそれを実現するための方法を説明できるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義方式であるが出来るだけダイアログ方式を取り入れて受講者の理解を深める。また、適宜、グループ別ディスカッションを行い、その成果をグループ別に発表する。				
学習の成果 (学習成果)				
現代社会における企業の種類と株式会社の特徴、役割と理解することで、学生は企業社会でのキャリア形成における基本的な知識を習得し、それに必要な資料の収集方法や簡単な分析が出来る。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明)。生活を支える企業①(豊かな生活と企業)			
第2回目	生活を支える企業②(ビジネス化の進展、私達の生産者としての側面)			
第3回目	大学で経営学を学ぶ意義①(何故、大学で経営学を学ぶのか、現代企業社会のあり様)			
第4回目	大学で経営学を学ぶ意義②(自立した個人の「4Lの充実」、個人が求められる「4つの能力開発」)			
第5回目	現代社会における企業の形態①(企業形態とは、出資にともなう責任と権限、われわれは何故会社を作るのか)			
第6回目	現代社会における企業の形態②(企業の形態)			

第7回目	会社法における会社の種類(会社法とは、会社の種類、要約)
第8回目	現代社会におけるCSR
第9回目	株式会社の特徴と仕組み②(株式会社の仕組み) 小テスト
第10回目	所有と経営の分離(所有と経営の分離とは、支配と管理、所有と経営の分離の要因、現代における所有と経営の現状)
第11回目	企業とステークホルダー(ステークホルダーとは、Good Willの獲得と企業行動、企業の利害調整機能)
第12回目	Corporate Governance①(コーポレートガバナンス(CG)とは、株式会社のガバナンス、CGの狙い)
第13回目	Corporate Governance②(CGを実現させるための手段、CGを損なわせる要因、CG情報の開示)
第14回目	#REF!
第15回目	まとめと一連の講義の振り返り(授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)
事前・事後学習	日頃、ネットやTVの経済ニュースを見ること。講義で理解できなかったことは、ネットやオフィスアワーで担当教員に質問し、次の講義までに解決しておくこと。

#### 成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	対話式授業では積極的に発言し、授業での疑問点には進んで質問すること。また、デスクッションには積極的に参加すること。
レポート	10%	企業経営に関するDVDを鑑賞した後、その内容をテーマに添って論理的・一貫性を以て記述すること。
調査報告書		
小テスト	10%	出題された5つの基本的な専門用語を、1問300字以内にその要点を纏めて記述すること。
試験	60%	設問の主旨を理解した上で、設問で求められている内容を必要な専門用語を使いながら一貫性を以て論述すること。
発表内容(態度含む)		
その他		

#### 教科書と参考図書

教科書 片岡信之編 『はじめて学ぶ人のための経営学ver.2』 文真堂

#### 履修上の留意点・ルール

問題意識を持って意欲的に受講すること。私語を禁止する。欠席した時には欠席届を提出すること。